

様式 12



② - 7

令和 5 年 6 月 16 日

茨城県知事

殿

茨城県笠間市八雲 2-12-14

医療法人社団 聖嶺会

理事長 立川 裕一郎

電話 0296 (77) 7211

決 算 届

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの決算を終了したので、医療法第 52 条
第 1 項の規定により届出します。



様式 12

[添付書類]

1. 事業報告書
2. 財産目録
3. 貸借対照表
4. 損益計算書
5. 監事の監査報告書

A. 社会医療法人の場合、次の書類を添付すること。

6. 法第42条の2第1項第1号から第6号の要件に該当する旨を説明する書類

B. 社会医療法人債を発行した法人の場合は、次の書類を添付すること。(ただし、10及び11は社会医療法人に限る。)

7. 純資産変動計算書
8. キャッシュ・フロー計算書
9. 附属明細書
10. 公認会計士又は監査法人の監査報告書
11. 法第42条の2第1項第1号から第6号の要件に該当する旨を説明する書類

- (注) 1. 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りる。
2. 提出は毎会計年度終了後3月以内である。
3. 貸借対照表の純資産の額に変更があった場合は、登記事項（組合等登記令（昭和39年政令第29号）の変更登記が必要である。

事 業 報 告 書
(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 聖嶺会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 茨城県笠間市八雲 2-12-14
茨城県笠間市南小泉 977-1

- (3) 設立認可年月日 平成 1 年 10 月 5 日

- (4) 設立登記年月日 平成 1 年 10 月 21 日

- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	立川 裕一郎	
常任理事	高 順一	立川記念病院管理者
理 事	飯泉 俊雄	介護老人保健施設シルバービレッジ管理者
理 事	小森 功	
監 事	近藤 眞一	
同	藤枝 勉	

注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	立川記念病院	茨城県笠間市八雲 2-12-14	一般病床 55 床 回復期リハ病床 22 床 療養病床 38 床 [医療保険 115 床]
介護老人 保健施設	シルバービレッ ジ	茨城県笠間市南小泉 977-1	入所定員 100 名 通所定員 20 名

〔別 紙〕
様式 1

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護リハビリテーション	茨城県笠間市八雲 2-12-14	
かさま障がい者サポートセンター	茨城県笠間市八雲 2-12-14	
居宅介護支援センター	茨城県笠間市南小泉 977-1	

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
該当なし		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年5月23日 社員総会・理事会 令和3年度決算の承認の件

令和5年3月27日 社員総会・理事会 令和4年度事業概要及び決算見込みの件

11 令和5年度事業計画及び収支予算の件

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

(9) その他

該当なし

様式 2

法人名 医療法人社団聖嶺会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県笠間市八雲2-12-14

財 産 目 録
(令和5年3月31日現在)

1. 資 産 額	1,734,917 千円
2. 負 債 額	805,657 千円
3. 純 資 産 額	929,260 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	489,698
B 固 定 資 産	1,245,219
C 資 産 合 計 (A + B)	1,734,917
D 負 債 合 計	805,657
E 純 資 産 (C - D)	929,260

(注) 1. 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。
2. 本様式は、法第51条第2項の医療法人が使用する様式である。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物 (☒ 法人所有 ☐ 賃借 ☐ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3

法人名 医療法人社団 聖嶺会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県笠間市八雲2-12-14

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	489,698	I 流 動 負 債	171,818
現金及び預金	144,360	支払手形	
事業未収金	316,932	買掛金	26,726
有価証券		短期借入金	93,000
たな卸資産	7,103	未払金	42,898
前渡金		未払費用	
前払費用	888	未払法人税等	
その他の流動資産	20,415	未払消費税等	546
II 固 定 資 産	1,245,219	前受金	
1 有形固定資産	1,156,750	預り金	8,648
建物	2,416,828	前受収益	
構築物	217,490	その他の流動負債	
医療用器械備品	99,068		3
その他の器械備品	192,504	II 固 定 負 債	623,839
車両及び船舶	23,157	医療機関債	
土地	330,029	長期借入金	623,114
減価償却費累計額	△ 2,311,118	繰延税金負債	
その他の有形固定資産	188,792	長期未払金	10,725
2 無形固定資産	36,130	その他の固定負債	
借地権		負債合計	805,657
ソフトウェア	34,394	純資産の部	
その他の無形固定資産	1,736	科 目	金 額
3 その他の資産	52,337	I 基 金	
出資金	10	II 積 立 金	929,260
長期貸付金		代替基金	150,000
保有医療機関債		設立積立金	937,215
その他長期貸付金		繰越利益積立金	△ 157,954
役職員等長期貸付金		III 評価・換算差額等	
長期前払費用		その他有価証券評価差額金	
繰延税金資産		繰延ヘッジ損益	
保険積立金	52,327	純資産合計	929,260
資産合計	1,734,917	負債・純資産合計	1,734,917

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

4. 本様式は、法第51条第2項の医療法人が使用する様式である。

様式 4

法人名 医療法人社団 聖嶺会 ※医療法人整理番号
所在地 茨城県笠間市八雲2-12-14

損 益 計 算 書
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		1,972,649
2 事業費用		
(1)事業費用	2,034,591	
(2)本部費用		
本来業務事業利益		△ 61,941
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業利益		△ 61,941
II 事業外収益		
受取利息	3	
その他の事業外収益	43,096	43,099
III 事業外費用		
支払利息	8,805	
その他の事業外費用		8,805
経常利益		△ 27,647
IV 特別利益		
固定資産売却益	63	
その他の特別利益	21,070	21,133
V 特別損失		
固定資産売却損	32	
その他の特別損失	21,070	21,102
税引前当期純利益		△ 27,617
法人税・住民税及び事業税	142	
法人税等調整額		
当期純利益		△ 27,759

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
 2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
 3. 本様式は、法第51条第2項の医療法人が使用する様式である。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 聖嶺会
理事長 立川 裕一郎 殿

私たちは、医療法人社団聖嶺会の令和4年度会計度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告致します。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席する他、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1)事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2)会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3)計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4)理事の職務執行に関する不正な行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和5年5月22日

医療法人社団 聖嶺会

監事 近藤 眞一 印

監事 藤枝 勉 印